

# ながの金融広報だより

## 活動方針に基づき2年度も金融広報活動を推進します

長野県金融広報委員会委員総会において、令和2年度の活動方針を決定しました。昨年度に引き続き「広めようお金の知識～生きる力、自立する力を高めるために」を活動のテーマとし、金融経済学習への支援や金融経済情報の提供を通じて、皆さまのお役に立つよう金融広報活動に取組んで参ります。

なお、当面は新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に諸活動を進めることになりますので、現在停止中の金融経済講演会の開催や各種講師派遣につきましては、今後の感染リスクの状況等を踏まえながら対応して参ります。

## 県内3国公立大学で金融リテラシー講座を開講します

今年度は、日本銀行ほか関係団体との連携による県内大学向け「金融リテラシー連続講座」を国公立3大学（信州大学、長野県立大学、長野大学）に拡充し、実施します。いずれも2単位の正式科目として実施するもので、現代を生きる若者が、将来の夢や豊かな生活の実現に向けて、トラブルを回避しながら効果的な取引を実践していく上で必要となる「金融に関する正確な基礎知識と的確な判断力」（＝「金融リテラシー」）を身につけることを目指します。このほか、他大学においては「集中講義」で対応します。

なお、前期に開講中の長野大学および長野県立大学では、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、学生と直接対面しない遠隔講義を行っています。

### 《連続講座実施大学》

| 大学名    | 科目      | 講義数 | 運営形式                                    | 開講日程     |
|--------|---------|-----|---|----------|
| 長野大学   | 生活と金融   | 14  | ・長野県金融広報委員会寄付講座                         | 2020年度前期 |
| 長野県立大学 | 金融リテラシー | 14  | ・金融経済教育推進会議関係団体、行政機関、地元地銀、シンクタンク等との連携講座 | 2020年度前期 |
| 信州大学   | 金融リテラシー | 15  |   | 2020年度後期 |

### 《集中講義実施大学》

| 大学名      | 科目                | 講義数 | 運営形式                             | 開講日程            |
|----------|-------------------|-----|----------------------------------|-----------------|
| 長野保健医療大学 | 特別講義<br>「金融リテラシー」 | 3   | ・日本銀行長野事務所（長野県金融広報委員会事務局）による単独講座 | 2020年<br>6月、11月 |

## 青少年生活設計講座を開催しています

当委員会では、高等学校・大学・専修学校・各種学校等の生徒を対象に、「青少年生活設計講座」を開催しています。

この講座は、自立した社会人として欠かせない正しい金融・経済の知識を身に付けるとともに、悪質商法被害、クレジットトラブル等の消費者トラブルを未然に防止することを目的としており、**令和元年度は23校（26講座）を開催し、2,055名が受講しました。**

当講座の開催を希望される際は、事務局までお問い合わせください。

## 「金融教育研究校」を委嘱しました

当委員会では、新しい時代を生きるうえで必要な資質・能力を確実に育むことを目指し、児童、生徒の発達段階に応じた「金融教育」の研究・実践を支援するために、毎年度、「金融教育研究校」を委嘱しています。今年度は新たに3校に委嘱し、下記の6校が研究校として研究活動に取り組みます。

### 《今年度の研究校》

| 小学校                         | 中学校         | 高等学校   |
|-----------------------------|-------------|--|
| 坂城町立坂城小学校<br>安曇野市立明北小学校（新規） | 原村立原中学校（新規） | 長野県小諸商業高等学校<br>長野県赤穂高等学校<br>長野県諏訪実業高等学校（定期制）（新規） |

## 学習会等へ講師を無料で派遣します

各地域・グループ・学校PTAなどで開催される金融経済情報・生活設計・金融教育等をテーマとした学習会、講演会、研修会等へ講師として「金融広報アドバイザー」を無料で派遣しています（派遣に伴う交通費も当委員会で負担します）。金融広報アドバイザーの専門領域は、法律、会計・税務、学校教育、消費者教育、ライフプランニング、悪質商法対策、終活などです。**令和元年度は38講座を開催し、1,370名が受講しました。**

講師派遣の詳細につきましては、ホームページをご覧いただくか、事務局までお問い合わせ下さい。

### コラム 信州の風

## 新型コロナウイルスとの共存社会

長野県金融広報委員会 事務局長（日本銀行長野事務所長） 松尾 隆敏

緊急事態宣言が1か月半ぶりに全面解除となった。手入れされた花々と新緑に彩られた善光寺表参道には、清々しい初夏の風と共に、通勤や散歩で往来する人の姿が徐々に賑わいを戻しつつある。とはいえ、このウイルス感染症に対する有効なワクチンや治療薬がない中での全面解除であり、引き続き感染拡大の防止を図りながら、如何にして日々の生活や経済活動を再開していくかが試されることになる。一つ言えることは、かつての日常を元通りに取り戻すことは中々難しそうだということである。ウイルスとの共存を前提に、これまで省みることのなかった社会慣行や行動様式の変革を受け入れていかざるを得ない部分も出て来よう。

私の仕事にも既に小さな変化が起きている。私が非常勤講師を兼任する長野県立大学では、学生の感染防止を図るために、通常の対面授業に代えて遠隔会議システムを活用した非対面・同時双方向型のリモート授業を行っている。学生が一人もいない教室でパソコンを介して繋がる学生に自分が話しかけている様子は、何とも奇妙な風景ではないか。そもそも非対面の講義の教育効果には限界があるとの声も少なくない。

もっとも、そうした懸念に反して、これまでのところ学生とのコミュニケーションは想像以上に活発であるように思うし、一部の学生からは移動時間の節約を歓迎する声も聞かれている。私自身は老眼かつ遠隔会議システムの取扱いに不慣れということもあり、眼・首・肩・腰の疲れが酷くコンディション維持の費用がばかにならないが、講義全体のコストという視点で考えてみると、効率化が図られ、地球温暖化防止にも一役買っているという側面が見えてくる。

今回の感染症への対処の過程では、我が国のIT活用の遅れ、非効率な社会慣行などが各方面で露となった。社会・経済のグローバル化の下では、ハイスピードで変化する世界の潮流に一層目配りし、我々の社会が大きく取り残されていかず省みる姿勢を持ち続けるとともに、柔軟に環境適応していくことの重要性を今更ながら痛感させられている。当面の最大の課題は、感染拡大の防止を図りながら、生活、雇用、その源となる経済を守ることであるが、私の小さな経験も踏まえると、今回の行動制約を我々の社会慣行や行動様式を改めて見直す契機とすることがとても重要ではないかと感じている。

## 長野県金融広報委員会

【事務局】 TEL:380-0936 長野市岡田178-8(日本銀行長野事務所内)

TEL:026-227-1296 FAX:026-223-0128

E-mail:info@nagano-money.com URL:<https://nagano-money.com>